

ごとう通信

第 132 号

平成 23 年 12 月 1 日

め息とともにスタートする月になっていきます。ふゝ「また年末だよ！」って。

さて、十二月は「ふれあい歯科ごとう」の開院月でもあります。

今月から九年目のスタート。これまであつという間の八年間でした。以前勤務していた診療室が二十周年を迎えたとき、院長の一言は「あつという間の二十年…」でした。きっと僕も同じようなことを言うのでしょね。

もちろんこの八年、良いこと悪いこと満載です。でも、多くの方に求めてもらい、順調にここまで来ていることは本当にありがたいことです。いつまでもおごらず、同じスタンスで末永く続けていこうと思います。まっ、それしかできないんですけどね。これからもよろしくお願いします。

昔、両親や祖母などが「一年経つのが早いねえ」と口癖のように言っていました。もちろん、うちだけでなく、いろんなところでそんな声を聞いていました。小さい頃の僕は、「一年経ったんだから当たり前だろ」と思っていました。最近はずいぶん。明らかに危機感を持って(ー)「一年経つのが早いなあ」と思います。何の差かは分かりませんが、焦りにも似た感情が湧きあがります。皆さんはどう感じてもらえますか？



誕生日やクリスマスのある十二月は寒いことを除けば好きな月でした。今はた

歯科医院への広告

いろんなところで配られるチラシやダイレクトメール、ファックスなど広告は、ありとあらゆる手段を使ってわれわれの手元にやってきます。私たち歯科医院へもいろんな広告が郵送、メール、ファックスなどで送られてきます。そのほとんどは必要ないもので無視しているのですが、結構モラルを欠いたものもあるんです。一番多いのは商品案内。歯科材料や薬剤だけでなく、車(なぜかベンツなどの外車)やリゾートホテル会員権、スポーツクラブのVIP会員などもあります。

次に多いのはセミナー案内。歯周病やインプラントなどの学術的なもの